

授業科目 基礎作業学

【担当教員名】 今 西 里 佳		対象学年	1	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標 : G10】 作業療法で治療的に用いられる種々の身体及び精神活動の概要を知り、これらが対象者の機能回復・維持にどのような機序で作用するのかを理解する。					
【学習目標】 1. 作業療法で用いられる身体及び精神活動を列挙する。 2. 身体及び精神活動と治療的に用いる意義を関連付ける。 3. 身体及び精神活動が対象者の機能回復・維持に作用する機序を理解する。 4. 身体及び精神活動に期待される治療効果を説明するための初歩的な技術と理論を修得する。 5. 身体及び精神活動を定量的または個別的に分析する作業に慣れる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（講義の進め方、作業の治療的活用）			1	講義
2	作業分析とは			1,2	講義, 実習
3	観察による日常生活動作の作業分析			3,4	実習
4	観察による日常生活動作の作業分析			3,4	実習
5	観察による日常生活動作の作業分析			3,4	実習
6	グループ発表の準備			5	演習
7	グループ発表・討議			5	討議, 講義
8	グループ発表・討議			3,5	討議, 講義
9	精神活動の機能障害とは			3,5	講義・演習
10	創作的活動の治療的応用			3,5	講義・演習
11	創作的活動の治療的応用			3,5	演習・演習
12	創作的活動の治療的応用			3,5	講義・演習
13	創作的活動の治療的応用			3,5	講義・演習
14	レクリエーションの治療的応用			3,5	講義・演習
15	レクリエーションの治療的応用			4,5	講義・演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		これからレポート・卒論を書く若者のために	酒井聡樹	共立出版	1,800円
参考書		図解作業療法技術ガイド第2版	石川齊、古川宏編	文光堂	8,000円
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 出席、授業態度、作業活動参加状況、レポートにより総合評価			【履修上の留意点】		